橋梁耐震補強設計研修会（ＩＮ福岡）報告（H.26.11.5～6 開催）

技術マネジメント研究所

平成２７年１月 23 日

・技術マネジメント研究所　上野代表の挨拶

・熱心に聴講する研修生

・丁寧に説明される講師

若手技術者の育成事業として、防災分野の重要テーマである橋梁耐震補強設計研修会を福岡で２日間実施いたしました。

冒頭、当研究所の上野から研修生に対し、「時代が要請する新たな技術を積極的に習得すること」の重要性を述べさせていただきました。

今回の参加者はアベノミクスによる業務多忙な中、２５名の参加となりました。参加企業は広域にわたり、遠方は滋賀県、愛媛県からもご参加いただきました。

講師・研修内容は以下の通りです。

講師：高　龍　氏（新日本技研株式会社　設計部長）

・技術士（総合技術監理部門・建設部門：鋼構造およびコンクリート、土質および基礎）

・ＡＰＥＣエンジニア、コンクリート診断士

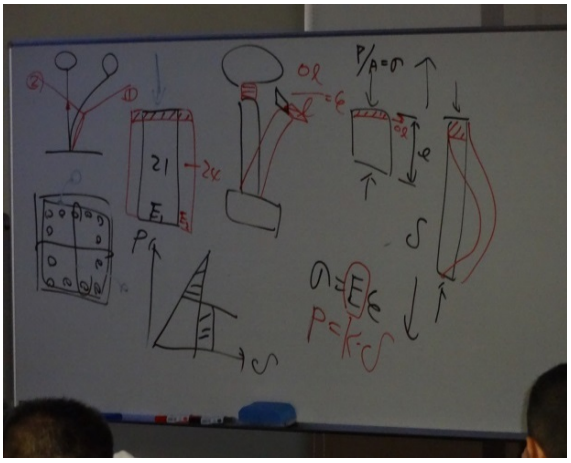
・平成２５年度中国地方整備局　局長業務表彰受賞

研修内容

１．概説
２．橋脚の耐震補強設計（静的解析）
３．動的解析の利用
４．支承と落橋防止システム
５．耐震設計演習
６．特殊橋梁の耐震設計事例
７．質疑・応答

皆さんから本研修会について、意見・要望をいただきました。　その一部をご紹介致します。

① １日目（講義）は内容が濃密であるにもかかわらず、解かり易く説明していただき、良く理解できました。２日目の演習は問題のシートが細かく作られているので、後日復習をして理解を深めます。



・保有水平耐力の説明図

・演習時、丁寧な指導

② 保有水平耐力法の計算過程を解かり易く説明していただき理解することが出来ました。これまで発注者への説明が曖昧となっていましたが、今後は自信をもって説明することが出来ると思います。

③ 道路橋示方書を読んでもなかなか理解し難い部分を解かり易く説明していただき、理解を深めることが出来ました。

④ 研修会のテキストは解かり易くまとめられており、今後、社内の技術者にとって役立つものと思います。
また、演習で使用したエクセルシートは今後、実務に役立つものと思います。

⑤ 今後の研修会テーマとして動的解析を希望します。
２日では時間が少ないので３日は必要と思います。

⑥旧基準との比較や会計検査事例など興味あるもので、実践向けだった。社内で活用します。

研修生の皆様からは、多くの建設的な意見・要望をいただきました。お礼申し上げます。
研修後は実践で研修結果を活かしていただきたいと思います。
技術的に困ったことがあれば、遠慮なく講師に尋ねていただくようお伝えしました。

講師の新日本技研株式会社　高　龍部長様にはテキストの準備、２日間の講義ご苦労をお掛けしました。この場をかりてお礼申し上げます。
皆さん、真剣に研修を受けられたことが印象的でした。感心するとともに、この様な研修会を開催させていただいたことに感謝いたします。必ずや今後の業務に活かされることと思います。